

* 研究のまとめ

今回、リサイクルについて調べて、リデュース、リユース、リサイクルの3Rに取り組み、じぞくかのうな「じゅんかんがた社会」を作ることが自然やかんきよの問題にも、とても大事だということが分かりました。そして、4つ目のR「リデュース」があつて、包そうなどことわるといふこともしていかねばならぬこととわりました。

アメリカのサンフランシスコ市で4つ目のR「ロット」を実際にしました。段ボールコンポストを作つてみて、いつも、もえるゴミとしてすてていた生ゴミが、野菜や花などの肥料としてリサイクルできるのが、とてもびっくりしました。こんなリサイクルをみんなできると、とてもゴミの量がへると思ひました。生ゴミのくさいにおいもなく、おどきませんでした。

どきどきと思ひました。どうして肥料になるのか不思議でまた、調べてみたく思ひました。おりにゴミを分別しなければ、よぶんなものを取りぞくと決めたかかると、リサイクルしやすいように、より細かく分別しなければいけないといふことが分かりました。

今まで、ペットボトルやトレーなどリサイクルで、出していただけ、今回調べて、どのようリサイクルまた、使われているのが分かつて、とても、おもしろかつたです。

おじいちゃんの介護の輪と和

田辺市立東部小学校 5年 藤田 陽乃

1. 研究の動機

私のおじいちゃんは、私の家で介護を受けています。元々、おじいちゃんはふつうに生活していましたが、突然脳出血で倒れて、倒れた時に足を骨折してしまいました。おじいちゃんは一命をとりとめましたが、高齢であることもあり、今までできていたことができなくなりました。おじいちゃんは寝たきり状態になりました。食事、排せつ、入浴などができなくなり、家族だけで全部の手助けをするのは難しくなつて、いろんな人の手助けが必要になりました。ケアマネージャーさん・ヘルパーさん・お医者さん・看護師さん・入浴サービスの人達が家に来てくれて、おじいちゃんを支えてくれます。そこで、私はおじいちゃんを支えてくれる人達がどんな仕事をしているかに興味を持ち、調べることになりました。

2. 研究の方法

- (1) 私の家に来てくれて介護をしている人達にインタビューしました。
(ケアマネージャーさん・お医者さん・訪問看護師さん・ヘルパーさん・入浴サービスの人達)
- (2) 介護に関連のある所を訪問・見学してインタビューしました。
(訪問看護ステーション「めぐみ」・特別養護老人ホーム「真寿苑」)
- (3) インターネット
(介護に関する資料を集めました。)
- (4) 書籍「図解 在宅介護のコツがよく分かる本」(主婦と生活社)

3. 研究のまとめ

- (1) おじいちゃんの介護を支えてくれている人達に話を聞きました。
- (2) いろいろな人達が、関わってくれているんだなと思いました。
- (3) お母さん・おばさん3人が頑張っているから、お家でおじいちゃんの介護ができるのだと知りました。
- (4) みんな、介護の仕事で大変なことや苦勞することはありますが、おじいちゃんが笑ったり、気持ち良さそうにしたり、「ありがとう。」と言ってくれたりすることが、一番うれしいのだと知りました。

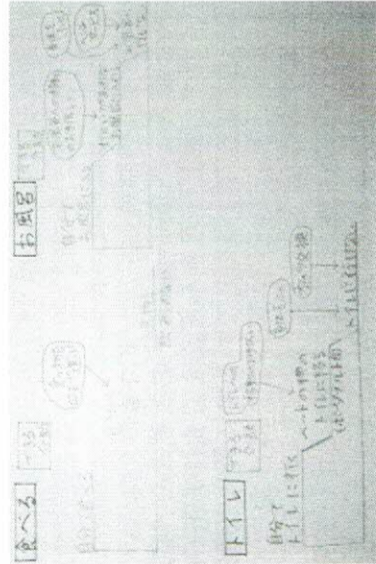
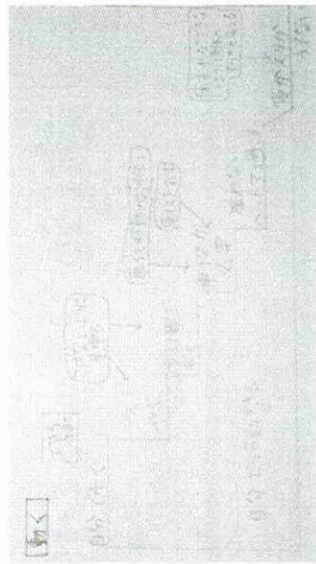
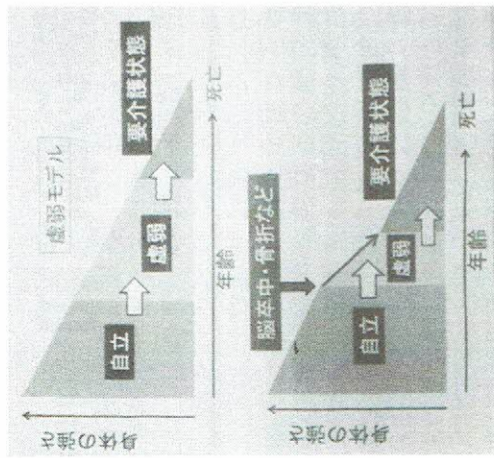
1. 介護するって、どういうことなんだろう

人は誰でもいつかお年寄りになります。

年をとると、病気をしたり、転んで骨を折ったりします。そうすると、これまで自分で当たり前にできていたことができなくなりました。

- ・自分で歩いて動くこと
- ・自分で食事を食べること
- ・自分でトイレまで歩いてオシッコやウンチをすること
- ・自分でお風呂に入ること

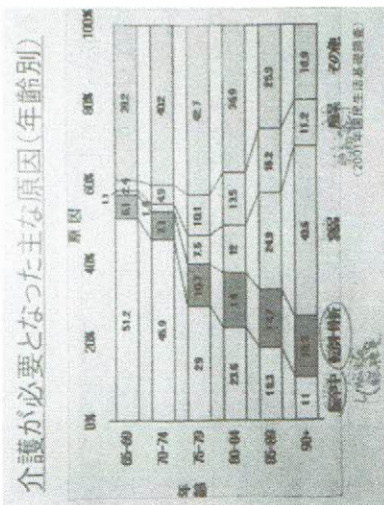
できなくなったことを周りの人達が手助けするのが介護です。全部するのはなく、自分でできることは、できるだけ自分でしてもらわないといけません。



2. お年寄りがどんどん増えている。将来、介護が必要な人もどんどん増えている。日本全体の人口は、2004年 1億 2800万人をピークに減っています。子供が減って、お年寄りが増えています。

「2025年問題」

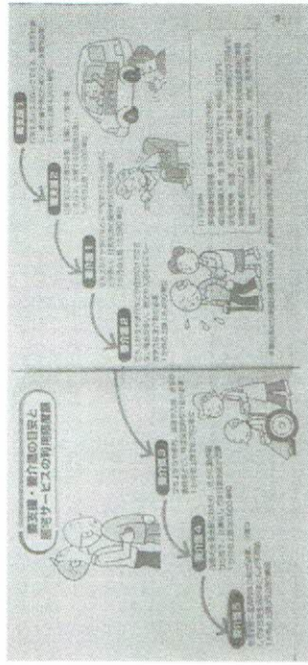
- … 子供が多かった年代（＝団塊の世代）が75才以上になって、お年寄りが急激に増えること。
- 2025年（私：21才）
 - … 75才以上のお年寄りが18.1%（約5人に1人）になります。
- 2060年（私：56才）
 - … 75才以上のお年寄りが26.9%（約4人に1人）になります。



お年寄りが増えると、身体が弱くなってきて（＝衰弱）、こけて転倒したり、脳卒中が増えて、介護が必要な人が増えてきます。

介護が必要となった人達（要介護・要支援）

2014年 3月 } この1年で22万人増えた。（＝田辺市の人口の約3倍）
 2015年 3月 } 606万人（＝国民の20人に1人）
 2025年 } 800万人以上
 おじいちゃんもその中の1人です。



3. おじいちゃんは、どうして介護が必要になったのか。

私が生まれた頃（おじいちゃん77才）、おじいちゃんはとても元気でした。自動車を自分で運転して、水泳がととも大好きだったので、田辺までやって来て、プールで泳いでいました。何でも自分でできていました。

5年前（おじいちゃん83才）脳出血で倒れ、入院中に右太ももを骨折しました。歩くのが難しくなりましたが、座ることはできました。リハビリを頑張っていました。今年4月（おじいちゃん87才）ベッドから落ちて、今度は左太ももを骨折しました。座ることもできなくなり、ベッドで寝たきりになりました。食事も自分だけではできなくなり、トイレにも行けないので、オムツが必要になりました。

4. おじいちゃんのできること・できないこと

できること （＝自分でしてもらうこと）	できなくなったこと （＝お手伝いが必要なこと）
○寝返りがうてる。	○歩けない。（1日じゅうベッドで）
○飲み込める。	○座れない。 過ぐす。）
○話ができる。	○トイレに行けない。（オムツ使用）
○新聞を読める。	○お風呂には入れない。
○口を拭くことができる。	○食物を口に運べない。（食事には介助が必要）
○歌が歌える。	○字が書けない。
	○服を着ることができない。
	○うがい・歯みがきができない。



おじいちゃんに必要な介護は何だろう？

○自分だけで食事ができない←食事の介助

○着がえができない←着がえの介助

○トイレに行けない←オムツ交換

(オムツを使用) ← 身体を拭く

○お風呂には入れない←入浴の介助

○1日中ベッドで過ごす

・関節が硬くなる←リハビリ

・床ずれができやすい←介護ベッド

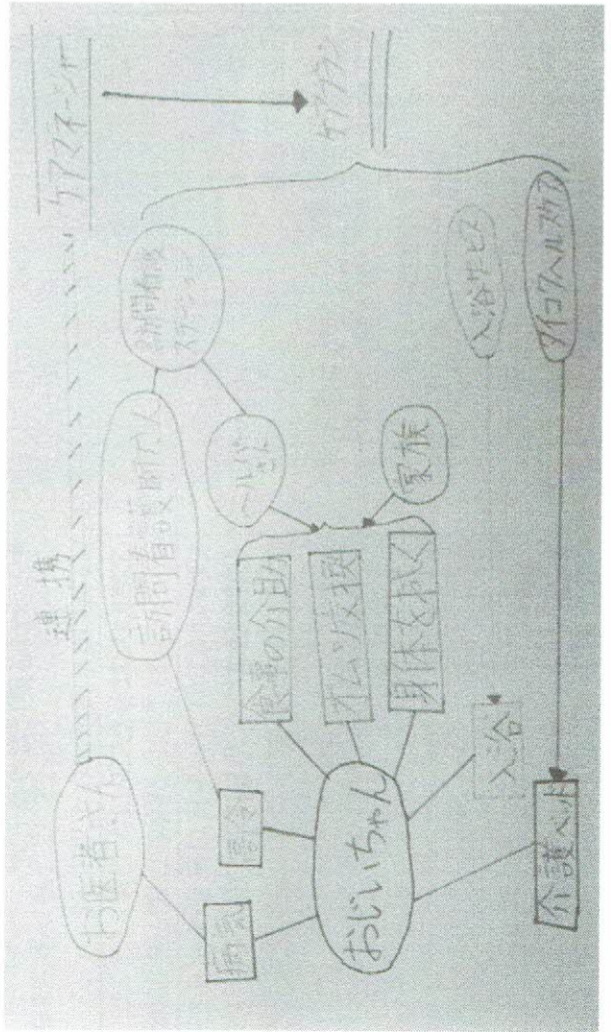


ケアマネージャーさんが、おじいちゃんの介護に必要な計画 (=ケアプラン) を考えてくれました。



色々な人達が、おじいちゃんの介護を支えてくれました。

5. おじいちゃんの介護を支えてくれる人達



家族だけで毎日ずっと続けるのは大変すぎる。

家族にはできない。

6. インタビュー (①~⑦)

インタビュー①
ケアマネージャーさん (介護支援専門員)

Q1. ケアマネージャーさんは、主にどんな仕事をしているんですか？

A1. 利用者の希望や体の状態にあったサービスを利用するためのサービスの窓口役です。

ケアマネージャーの役割は？

- ・介護認定の申請手続きの代行
- ・サービス計画書 (ケアプラン) の作成
- ・介護サービス事業者との連絡調整
- ・サービスの評価とサービス計画の見直しなど
- ・介護に対する悩み相談

※サービス計画書 (ケアプラン) とは？

本人・家族の希望や介護の必要性と利用限度に基づいて作成される介護の計画

Q2. 1番大変なことは何ですか？

A2. 本人と家族の意見がちがう時。

Q3. うれしいことは何ですか？

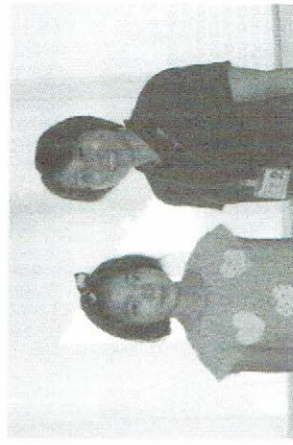
A3. 利用者さんが元気になること・喜んでいること。

Q4. なぜこの仕事を選んだんですか？

A4. 人と関わる仕事が良かったから。



丁寧に教えてくださり、ありがとうございました。



インタビュー②
訪問入浴サービス

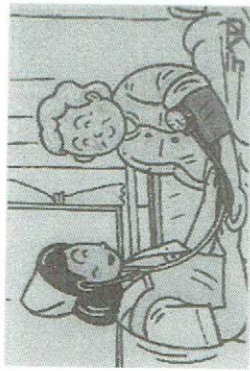
訪問入浴の流れを説明してもらいました。



移動入浴車 (特殊車両)



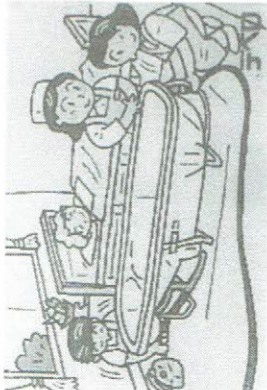
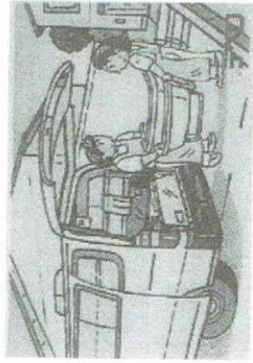
① 訪問入浴の方が来ました。必ず看護師さんをふくむ3人が来ます。



② 看護師さんが、血圧、体温、脈拍を測ります。



③ 浴槽を部屋に運び入れてくれます。



④ 排水場所を確保し、浴槽・ホース類等入浴機材の準備をします。ホースの長さは4m・6m・10mがあり、おじいちゃんは4mを使っています。



担架ネットをセットします。



⑤ ベッドから浴槽まで運んでくれます。



⑥ 頭や体を洗ってくれます。



⑦ おじいちゃんは、お風呂が大好きです！
.....
移動入浴車の説明をしてもらいました。

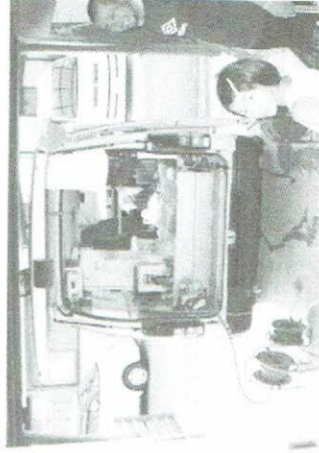


お風呂から出て、服を着せてもらいます。もう一度血圧を測ってもらい、おじいちゃんのお風呂は終わります。お風呂の後のジュースはかかせません！

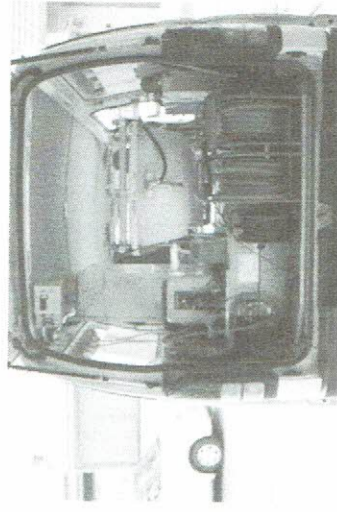


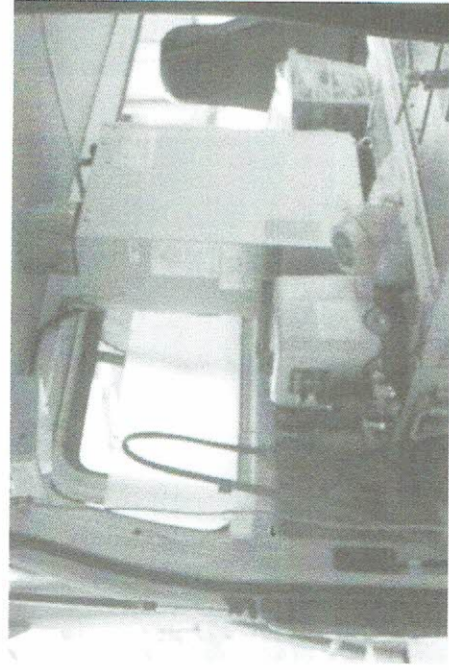
浴槽がそのまま入る特殊車両。
(組み立て式の浴槽が入る車もあるそうです。)
車の上に加えつつがあるのが入浴車の目印です。
3人乗れるようになっていて、お風呂に必要な機材が積まれています。

すべての機材がきれいに積まれています。



水道水を使用し、入浴車のポンプ(400L入る)を使ってボイラーでわかし、ホースから浴槽に入るようになっていて、最高75℃まで温度を上げることができる。





入浴をしない方には清拭をする。使用するときには、7.5℃まで上げる。お風呂の温度は、冬場で4.4℃まで上げる。夏場は4.2℃。
移動は、1日で田辺から龍神までまわり、多い時で7件もまわる。

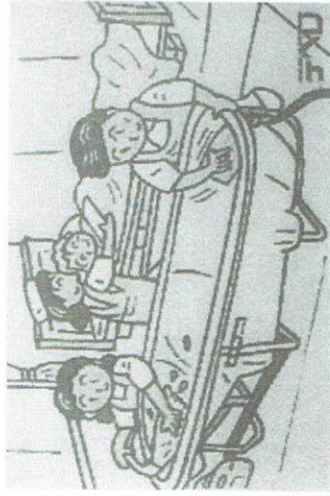
入浴に使用した物品は、その都度洗浄と消毒を行い、清潔を維持する。

Q1. 一番大変なこと、困ったことは何ですか？

A1. 利用者さんが減ること、車・ボイラーが故障すること、あまり知られていないこと。

Q2. 一番うれしいことは何ですか？

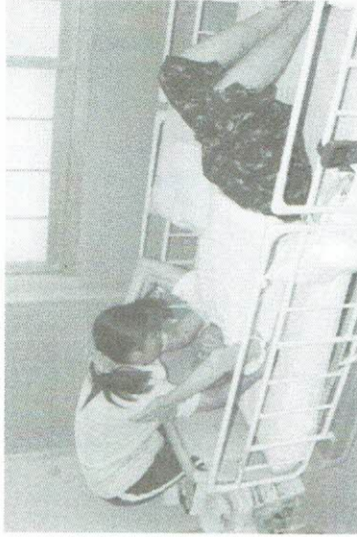
A2. 利用者さんが「ありがとう、気持ちよかったです。」と言ってくれること。病気が良くなつて元気になってくれることもうれしいそうです。



ありがとうございました。
たくさんのことを教えてくれて、
ありがとうございました。

インタビュー③
ヘルパーさん

おじいちゃんやヘルパーさんは、だいたい2~3人の方が来てくれて、なるべく同じ人がケアしてくれるようです。



①体が下がっているの、ベッドの上にひっばっています。力があるので大変そうです。

②必ず、体温と血圧を測ります。

Q1. 介護をする時に、心がけていることは何ですか？

A1. やさしく声かけをしたり接すること。

Q2. 介護している時にうれしいことは何ですか？

A2. 名前を覚えていてくれたり、来た時に喜んでくれたらうれしい。

Q3. 介護をしている時、大変なことは何ですか？

A3. 話を通じない時。

Q4. 1日に何軒ぐらいまわりますか？

A4. 5軒ぐらい。(多い人は7・8軒)



※母やおばさんが忙しい時は、ヘルパーさんがオムツ交換と食事介助をしてくれます。

ヘルパーさんがおじいちゃんを見てくれている間に、母は買い物に出かけられるので助かるそうです。



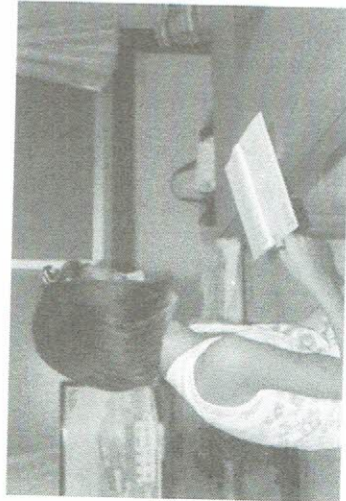
③おじいちゃんの手は、マヒがあるのでおはしやスプーンを持ってません。食事介助が必要です。

質問に答えてくださり、ありがとうございました。

インタビュー④
訪問看護ステーション

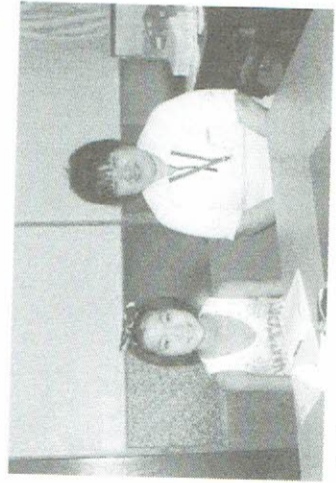
訪問看護ステーションから、以前、おばあちゃんに看護師さん、おじいちゃんにヘルパーさんが、それぞれ家に来てくれていました。今回は、看護師さんでもある社長さんのお話を聞くことができました。

- Q1. 訪問看護とは何ですか？
 A1. 病院の看護師さんと少しちがって、寝たきりの人や病気や障害を持った人を住み慣れた家で看護ケアできる。
 Q2. ヘルパーさんと看護師さんは、どのような仕事をしているんですか？
 A2. <ヘルパーさん> <看護師さん>
 ○ごはんを作る ○点つきや傷の処置
 ○そうじをする ○オムツ交換など
 ○オムツ交換
 ○買い物など



- Q3. おじいちゃんが直接頼んだら、ヘルパーさん達が来てくれるんですか？
 A3. ケアマネージャーさんが、訪問看護やヘルパーさんが必要だと思ったら、家族とおじいちゃんに確認して決めてもらう。
 Q4. 1番たいへんなことは何ですか？
 A4. 利用者さんの家に行くこと。(何があるか分からない緊張感があるから。)

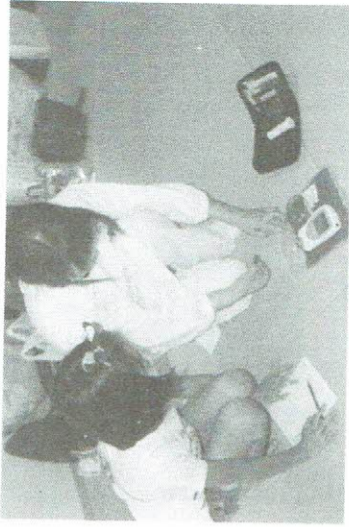
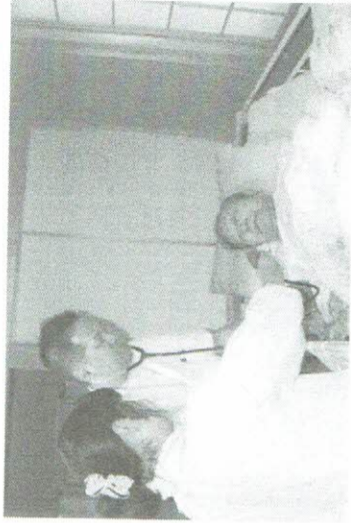
- Q5. 1番うれしいことは何ですか？
 A5. 「また来て。」と言ってもらうこと。
 Q6. なぜ、この仕事をやるうと思っただんですか？
 A6. 元々病院の看護師さんだった。友達にさそわれてやってみて、ゆっくりケアができるので自分に合っていると思った。
 Q7. 利用者さんはどれぐらいいるんですか？
 A7. 看護師さんの方→50名ぐらい。ヘルパーさんの方→45名ぐらい。
 Q8. どこまで訪問されているんですか？
 A8. すさみ・白浜・上富田・田辺・中辺路



訪問させていただけいただきありがとうございます。

インタビュー⑤
真寿苑クリニック 森先生、看護師さん

森先生は、おばあちゃんの訪問医でした。おじいちゃんは、少し前まで紀南病院の内科に通院できていましたが、動くのが大変になったので、訪問してもらうことになりました。



診察が始まり、血圧を測ってもらっています。

血のサラサラ度を測る機械。おじいちゃんの薬の量が決まります。これでこの日はバッチリでした！

インタビューをお願いしてみました。

- Q1. 訪問診療で大変なことは何ですか？
 A1. スタッフの皆さんと協力し合い、連けいをとっているのです、あまり大変だと思いません。
 Q2. 訪問診療で嬉しいことは何ですか？
 A2. 皆さんが元気でいることが嬉しい。
 Q3. やりがいはどんな時にありますか？
 A3. 皆さんが健康で長生きできたらやりがいにつながる。
 Q4. 先生は、なぜお医者さんになるうと思っただんですか？
 A4. ……皆さんが長生きできる役に立ちたいと思った。
 Q5. なぜ、訪問診療をしようと思っただんですか？
 A5. 通院するのが大変だから、患者さんと家族の負担を減らせたらいいなと思った。



森先生、看護師さん、ご協力ありがとうございます。

インタビュー⑥
家族「おばさん3人とお母さん」

おじいちゃん介護を中心しているのは、やはり家族です。私のおばさん3人とお母さんで協力して介護していると思います。
Q1からQ4まで同じ質問をしてみました。
〈おじいちゃん、長女の次女にインタビュー〉



- 〈おじいちゃん、次女にインタビュー〉
- A1. 何回も呼ばれてゆっくりできない。
 - A2. みんなが助けてくれること。
 - A3. 親の側にいつでも寄りそえたこと。施設や病院では時間が決められているので、都合の良い時間に会えなかったと思う。在宅のおかげで、したことのないオムツ交換などが身についた。
 - A4. 仕事で疲れている時に介護をするのが1番大変だけれど、最終的に良かったと思う。



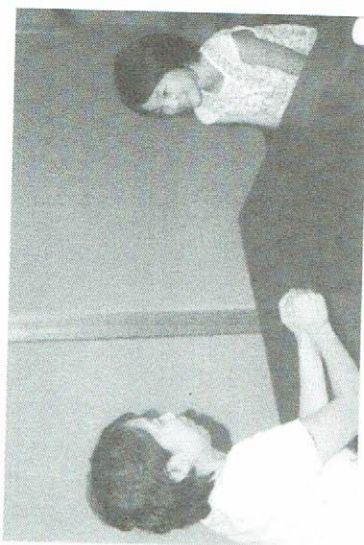
- 〈おじいちゃん、三女にインタビュー〉
- A1. 休み中におじいちゃんをみるのが大変な時がある。
 - A2. おじいちゃんを1人にせず、いっしょにいてあげられること。
 - A3. 両親の側にいてあげられることで、両親の異常がすぐに発見でき、すぐに治療の場へ連れて行けることで、手遅れにならないうちに治療することができたこと。
 - A4. 最近では認知症が進んできて、意味の分からないことを言って興奮するので、対応が大変。調子が悪くなると、夜中に寝てくれないので眠れない時があったり、食

- Q1. 今1番大変なことは？
- A1. 仕事と介護の両立。
- Q2. 今1番良かったと思っていることは？
- A2. 毎日顔が見れて、話ができること。
- Q3. 今までで1番良かったと思うことは？
- A3. 思い出がたくさん作れたこと。
- Q4. 今までで1番大変だと思うことは？
- A4. 仕事で疲れていて、言葉がきつくなったりする。常に家に来られる状況を作るのが今も大変。

事をしない時があるので、栄養面での管理も大変。(夏は水分補給に注意して、冬は寒いので体温調節に注意する。)

〈おじいちゃん、四女（お母さん）にインタビュー〉

- A1. 自分と家族の時間が少なくなること。おじいちゃんの認知症が進んでいること。



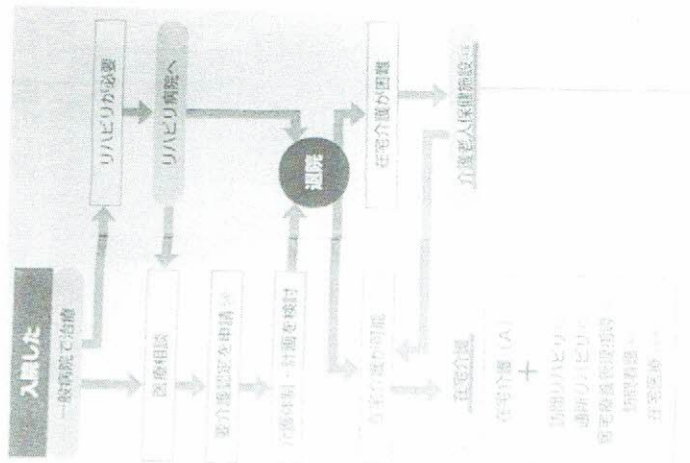
- A2. みんなで介護できていること。お父さん、子ども達、兄、姉と協力していること。
- A3. 家族全員でおばあちゃんの最期を看取れたこと。
- A4. 子育てと介護の両立。誰かに時間を作ってもらわなければならないこと。

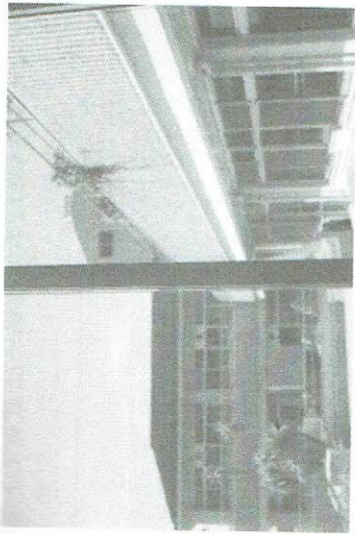
やっぱり、家族が一番大変だと思いました。

インタビュー⑦
介護施設の見学

お年寄りだけでなく、介護が必要な人達もたくさんいるのに、みんな、おじいちゃんのように、お家で介護しているのかなと思いました。
お父さんに聞くと、お家で介護している人より、介護施設で介護する人の方が多いと教えてもらいました。

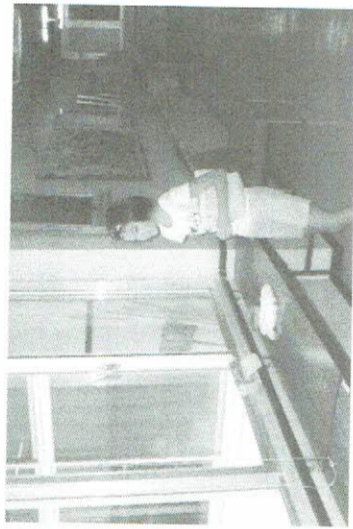
今回、特別養護老人ホーム「真寿苑」に見学に行くことができ、生活相談員の小川さんに案内してもらいました。





真寿苑

ろうかに、たくさん絵・花・かざりがありました。



到着しました

Q1. 大変なことは何ですか？

A1. 認知症の方の介護。

Q2. 困ったことは？

A2. たくさんの人が入所を希望しているが、施設が満床で受け入れることができない場合がある。

Q3. 嬉しいことは何ですか？

A3. 利用者さんの感謝の言葉。
(やりがいにつながる。)

Q4. なぜ、この職業についていたんですか？

A4. 母親がケアマネジャーさんで、この仕事（生活相談員）をすすめてくれた。
(小川さんの場合)



Q5. この施設には、介護をする人は何人ぐらいいますか？

A5. 50人ぐらい。

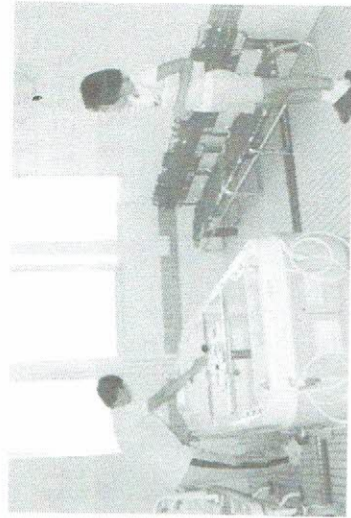
Q6. 利用者さんは何人ぐらいいますか？

A6. 定員103人。

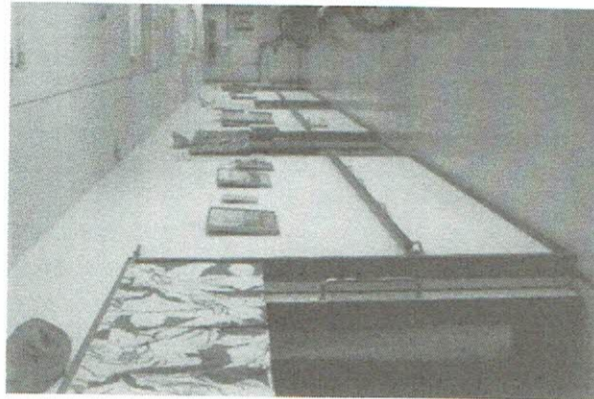
インタビューが終わり、施設の中を案内してもらいました。



スロープになっていて、そのまま車イスで入れるお風呂だそうです！
すごい！と思いました。



寝たきりの人用のお風呂の移動は、全部機械です。
両方とも温泉だそうです！



お部屋は、それぞれのスペースを自分の家と同じようにして過ごされたりしているそうです。

カラオケ大会やお花見、ゲームなど、楽しい行事も、たくさんあるそうです。



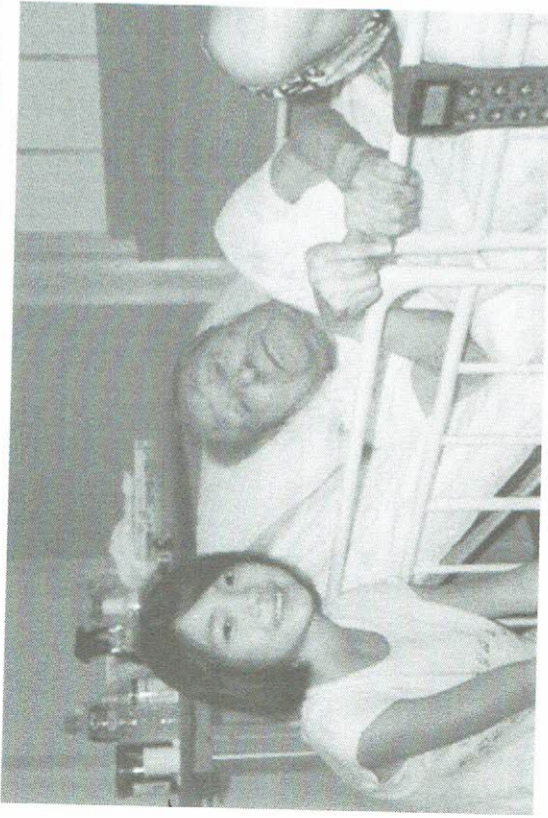
さんちようしました…

色々なお話をきかせていただけて、嬉しかったです。
ありがとうございます。

7. 「おじいちゃんの介護について」調べてみて（感想）

もう何年も前から、介護のためにいろいろな人達が家に入入りしてしまっています。でも、その人達が一体何をするために家に来ているのか知りませんでした。
この研究を通じて、介護の場でどういう職業の人がどんな仕事をしているのか具体的によく理解できました。

おじいちゃんやんの在宅介護は、家族がいて、支えてくれる人達がたくさんいて、成り立つものなんだなと思います。
 これからは、私にもできることがあったらどんどん手伝っていききたいです。



おじいちゃんやんは、みんなの大事な人です。
 これからも、長生きして下さい。

学校名 西富田小学校
 学年 5年 NO.193
 氏名 野村 百加
 作品名 空海

研究の動機

私は新聞やニュースで「高野山開創1200年」の事を知り、「高野山を造った空海はどんな人なのか?」「空海が高野山を造るまでの経緯はどんなものなのか?」などの事について関心を持ったので調べるところにしました。

方法

ゆかりの地に行き、調べました。
 空海 香川県・善通寺・満濃池
 奈良県・久米寺
 和歌山県・高野山
 また、インターネット、新聞、本などで情報収集しました。

結果

ゆかりの地に行ったり、本などで調べたりした結果、空海の事だけでなく、その土地のことや意味なども知れて良かったと思います。そして、この研究をして知ったことや分かったことなどを他の機会に活かせたいと思います。



明
 秋
 篠宮ご夫妻
 で
 受
 け
 ら
 れ
 る
 説
 明

この写真は5月21日に秋篠宮ご夫妻が高野山を訪れた時のものです。今年、開創1200年を迎えた高野山は弘法大師・空海が816年に真言宗の道場を開いた場所です。